

平成27年度

学 校 要 覧



校 歌

作詞 佐藤孝一
作曲 鷹背洋一

一、空だ輝く 太陽だ

あげよもろ手を 青空に

西風の丘の 白垂なる

ああ学び舎に この庭に

集うわれらに ほこりあり

二、山だ阿原に 雲なびき

歌え朝風 さわやかに

遠い祖先に うけついで

ああこの里に 生まれえて

学ぶわれらに のぞみあり

三、川だせせらぐ 伊手川の

聞けよ自然の あし音を

はるか未来に 夢かける

ああ清らかな ひとみもち

進むわれらに しめいあり

奥州市立伊手小学校

〒023-1761

岩手県奥州市江刺区伊手字西風 1 0 2

TEL・FAX (0197) 39-2123

mail: ideshou1@city.oshu.iwate.jp

I 学校の概要

1 学区の概要

学区は、奥州市江刺区の東南部に位置し、周囲は米里・玉里・藤里・田原地区及び一関市大東町・気仙郡住田町に接し、北上山地南端の種山高原を源として西方に山裾を流れ下る伊手川流域を中心とした集落である。

流域の低地は、田畑として利用されているが大部分は起伏に富んだ山林と草地であり、いわゆる山間地農業の流域である。しかし、専業農家は少なく会社員・公務員・建設業等の兼業がほとんどである。

農耕地は15パーセントに過ぎず、主な産物は、米・林檎・牛・野菜などである。かつては学区内に鉱山があり、赤金鉱業所により鉱産物が産出されていたが、昭和47年に閉山となった。現在は、江刺鉱業所によって鉱山跡から採石が行われている。

交通は、江刺・水沢から大船渡・大東方面に通じている国道・県道が通り、朝晩の通勤等の自動車の交通量が多い。交通手段は、伊手・岩谷堂間に江刺区内循環バスが運行され、タクシーとともに地区住民の足となっている。また、東北新幹線の水沢・江刺駅にも近く便利がよい。

住民の気風は純朴であり、教育に対する関心が高い。学校との結びつきも深く、学校へのさまざまな協力、学校行事・PTA行事等への参加など積極的である。

✧ 面積 48.98km² ✧ 人口 男 867人 女 929人 合計 1,796人 ✧ 世帯 589世帯（平成27年4月現在）

2 沿革の概要

- | | | | |
|------------|--|------------|---------------------------|
| 昭和44. 4. 1 | 伊手小学校と上伊手小学校を統合し、伊手小学校となる | 5. 10. 4 | 市教育委員会指定学校公開研究会開催（国語） |
| 44. 9. 20 | 現在地（伊手字西風102）に、新校舎建築着工 | 6. 6. 13 | 環境庁主催『植樹祭』参加 |
| 46. 1. 15 | 新校舎に移転、実質統合 | 9. 5. 7 | 小さな親切実行本部より児童会表彰 |
| 47. 1. 15 | 屋内体育館竣工 | 10. 2. 25 | 冬季国体アトラクションに獅子躍出演 |
| 48. 8. 6 | プール完成 | 11. 11. 20 | 伊手小学校創立三十周年記念行事開催 |
| 48. 11. 10 | グランドピアノが寄贈され披露演奏会を開催 | 13. 4. | 森の体験学校モデル校 |
| 51. 11. 10 | 相撲場・国旗掲揚塔完成
教育百年誌発行並びに校旗樹立式 | 14. 3. 28 | 仮設校舎（伊手公民館）移転（同旧校舎解体工事着手） |
| 54. 6. 30 | 地区振興会とPTA事業収入による鼓笛隊用楽器購入 | 15. 2. 28 | 新校舎竣工 |
| 54. 10. 2 | 県教育委員会・市教育委員会指定学校公開研究会（体育） | 15. 3. 11 | 新校舎授業開始 |
| 56. 1. 20 | 保健体育の指導研究の功績顕著につき、財団法人日本学校体育研究連合会並びに文部省より表彰 | 15. 6. 21 | 伊手小学校校舎落成記念式典挙行 |
| 57. 10. 15 | 全日本良い歯の学校表彰 | 15. 10. 3 | 市教育委員会指定学校公開研究会開催（算数） |
| 平成1. 3. 30 | 伊手女子ソフトボールスポーツ少年団全国大会出場（広島市呉市） | 17. 3. | 日専連版画コンクール全国金賞・銅賞受賞 |
| 1. 10. 21 | 伊手小学校創立二十周年記念行事開催 | 18. 2. 20 | 市町村合併により、奥州市立伊手小学校となる |
| 3. 3. 7 | 県小学校運動競技奨励事業《県十傑》県教育委員会表彰「女子自由形200mリレー」「男子走り幅跳び」「男子バタフライ50m」 | 19. 10. 7 | 江刺区民運動会アトラクション獅子躍出演 |
| 3. 7. 28 | オーストラリア・シェパートン市親善訪問～8. 3 《校長・児童4名》 | 21. 1. 27 | ブルタブ回収で江寿園に車イス寄贈 |
| 3. 9. 17 | 郷土芸能伝承活動《伊手金津流獅子躍》に取り組み開始 | 21. 3. | 日専連版画コンクール全国銀賞受賞 |
| | | 21. 10. 31 | 伊手小創立四十周年記念式典 祝賀会 |
| | | 22. 11. 10 | 岩手県交通安全表彰受賞 |
| | | 23. 3. 11 | 東日本大震災 マグニチュード9.0 |
| | | 23. 10. 4 | あすなろコンサート開催 |
| | | 24. 11. 2 | 市教育委員会指定学校公開研究会開催（算数） |
| | | 25. 2. | 新屋内運動場竣工 |
| | | 25. 3. | 新プール竣工 |
| | | 25. 6. 29 | 屋内運動場、プール落成記念式典祝賀会 |

3 校地・施設・位置

【校地】

校舎敷地	グランド	その他	計
19,941m ²	14,174m ²	7,027m ²	41,142m ²

【施設】

校舎	外倉庫	体育館	プール槽
2,313m ²	26m ²	855m ²	325m ²

【位置】

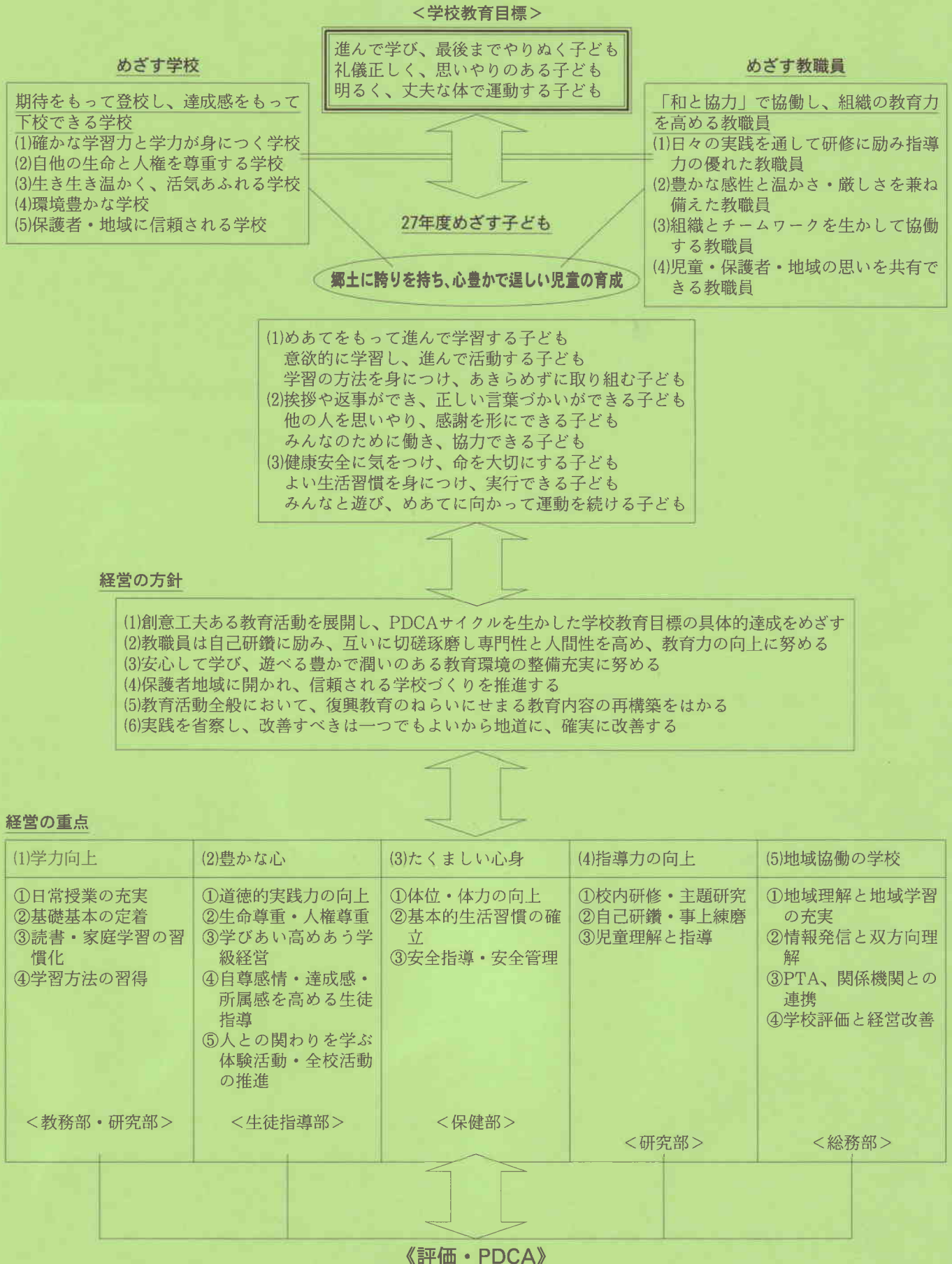
北緯	39° 10' 05"
東経	141° 18' 20"
標高	192m

4 児童数及び学級数

性別	学年							合計
	1	2	3	4	5	6		
男	4	5	4	7	3	6	29	
女	4	3	5	4	7	5	28	
計	8	8	9	11	10	11	57	

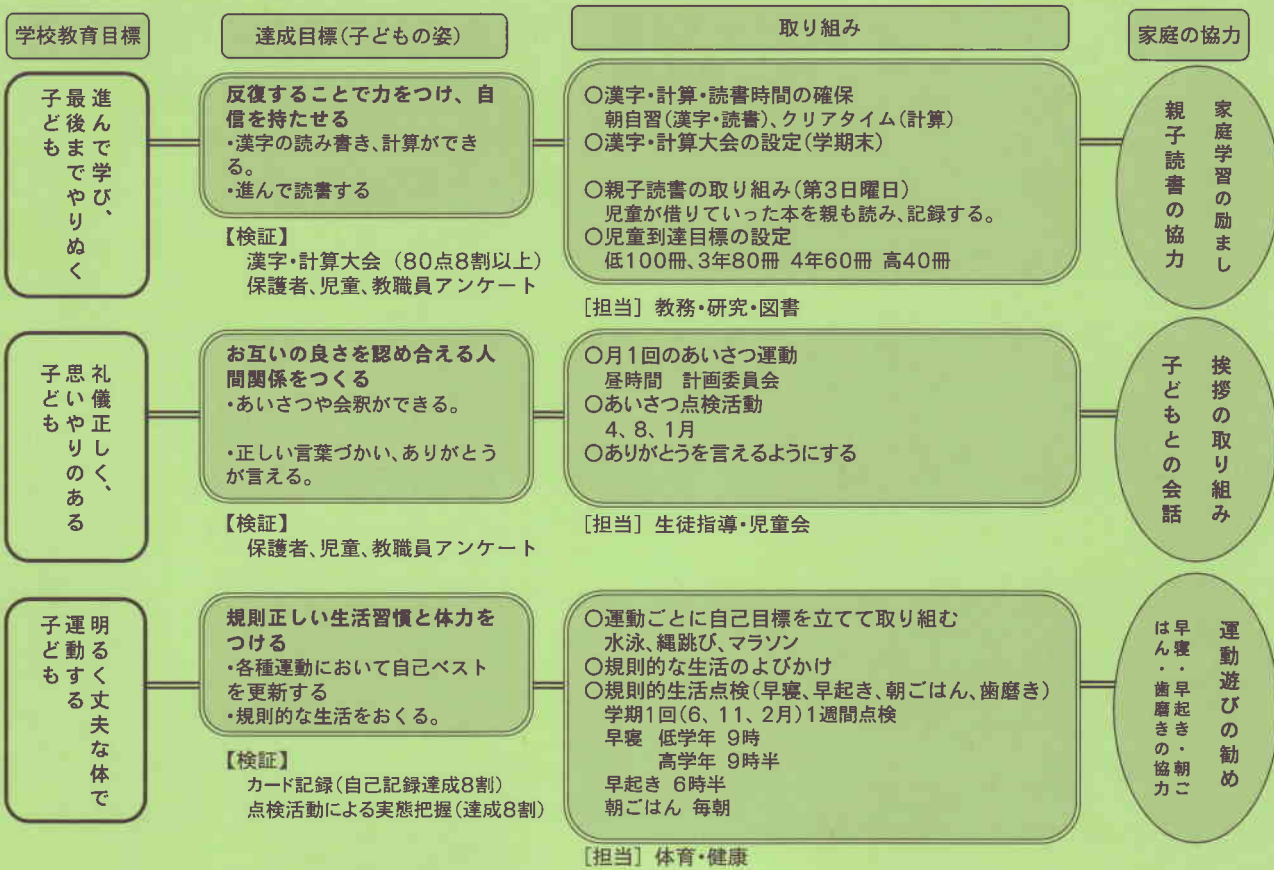
II 学校経営

1 学校経営全体構想



「学びフェスト」は学校の達成目標について、児童の取り組みやご家庭の協力・連携を戴きながら達成をめざすものです。

郷土に誇りを持ち、心豊かで逞しい児童の育成



3 校内研究

(1) 研究主題

「思考力・表現力を育てる算数科の指導はどうあればよいか」
～自分の考えを伝えあう活動を通して～

(2) 研究目標

○ 自分の思いを伝え合い、関わり合いながら考える子どもを育成するために、算数科の授業実践を通して検証していく。

(3) 研究仮説

○ 問題解決型の算数科の指導において、次のような手立てを講ずれば、自分の思いを伝えあう子どもが育つであろう。
手立て1 自分の考えを明確にもつような手立ての工夫
手立て2 考えたことを全体に広げる学習の場の工夫

(4) 研究内容

- ① 手立て1に関する内容
 - ア 言葉や数・式・図・表・グラフなどで書き表し、自分の考えを持つ工夫
 - イ 自分の考えを明確に持つようなノート指導
- ② 手立て2に関する内容
 - ア 集団での話し合いの仕方の工夫
 - イ 受け取る側、伝える側の意識を高める指導

(5) 研究方法

- ① 先行研究や文献研究による基本的な考え方の確立
- ② 授業実践による仮説の有効性についての分析と考察
- ③ 児童の意識調査による指導効果の分析
- ④ 講師を招聘し、指導・助言を受ける。

5 生活時程表

月	火	水	木	金
登校	8:10			
読書 8:15～	全校朝会 児童朝会 8:15～	朝自習 8:15～	朝自習 8:15～	朝自習 8:15～
朝の会 8:25～ 8:35				
教科等	教科等	教科等	教科等	教科等
教科等	教科等	教科等	教科等	教科等
業間休み 10:10～10:25				
教科等	教科等	教科等	教科等	教科等
教科等	教科等	教科等	教科等	教科等
給食 12:05～12:50				
昼休み 12:50～13:15				
いでっこタイム 13:15～13:35				
清掃 13:35～13:55				
教科等	教科等	教科等	教科等	教科等
帰りの会 14:45～15:00				
クリアタイム 15:00～15:10				
教科等	委員会	教科等(ク)		教科等
S.B <1便 15:00(木)> <2便 16:40(夏)16:10(冬)16:30(4・5月のみ)>				
下校	16:25 (4・5月)	/ 16:35 (6月～10月)	/ 16:05 (11月～3月)	14:55 (木曜日：通年)